

第2回「関西スポーツ応援企業表彰」受賞企業の概要・授賞理由について

大 賞 (株)オークワ

◇ 本 社：和歌山県和歌山市

◇ 事業内容：システムによるチェーンストア経営（食料品、酒類、米類、家庭用品、住居用品、室内装飾品、DIY、スポーツ用品、家庭電化製品、医薬品、衣料品等の販売）

【授賞理由】

- 1985年から、ちびっ子健康マラソン大会、2006年から自社卓球部による中学生向けの指導講習会を開催しているほか、サッカー教室やバレーボール大会を主催・協賛するなど、地域に根付いたスポーツイベントの開催・支援を通じ、スポーツ機会の創出に貢献している。
- 卓球・陸上・馬術・ウェイトリフティング等多様な競技において国体等で活躍する選手の輩出や雇用等、和歌山県のスポーツ競技力向上に貢献。
- 本年度は、財団を通じ、アルコール洗浄ハンドジェルの寄付等、コロナ禍におけるスポーツ活動の早期再開に向けた支援を実施している。

スポーツ振興賞 (株)デンソーテン

◇ 本 社：兵庫県神戸市

◇ 事業内容：コネクティッド事業（安全運転管理テレマティックスサービスなど）、CI 事業（ディスプレイオーディオ、カーナビゲーション、など）、AE 事業（エンジン制御ECU、エアバッグ制御ECU、ハイブリッド制御ECU など）

【授賞理由】

- 長年にわたり、障がい者スポーツの普及・振興・発展のための多面的な支援を継続的に行っている。
- 2011年より、自社バレーボール部（デンソーテンレッドフェニックス）が、障がい者バレーボール教室を開催している。
- 卓球部やバスケットボール部などの運動部や従業員が、障がい者アスリートとの練習やイベントに参加している。
- 地域の障がい者スポーツイベントへ体育館を開放及び運営協力や、各事業所で福祉施設等への用具の寄贈、障がい者スポーツ（ボッチャ）を社内球技大会に採用している。

地域振興賞 オプテックスグループ(株)

◇ 本 社：滋賀県大津市

◇ 事業内容：業務用・産業用センサの製造等

【授賞理由】

- 2002年より全国の小中高生等が参加する、琵琶湖畔に位置する立地環境を活かしたスポーツ体験学習（カヌー・ドラゴンボート・いかだづくり等）と水環境体験学習（外来魚やプランクトン等の観察、湖畔の生き物調べ、ヨシ紙笛づくり等）を実施している。
- また、小中高生約90名が在籍する関西唯一の民間企業運営のカヌーチームを2005年に設立・支援し、世界を目指すジュニアアスリートの育成・輩出に貢献している。
- このほか、1991年の滋賀県中国湖南省友好提携10周年を記念して開始した「ドラゴンボート各種選手権大会」「びわこペーロン大会」のメインスポンサーとして、地域のスポーツ文化振興に貢献している。

健康経営賞 日本たばこ産業㈱

◇ 大阪支社：大阪市北区

◇ 事業内容：たばこ、医薬品、食品、飲料の製造・販売

【授賞理由】

- 従業員の健康保持・増進を図るため、全社イベントとして、2019年以降「ウォーキングラリー」を開催。同イベントを通じ、参加者の歩数に応じてアジア・アフリカの子供を支援するNPO団体へ寄付をする等、社会貢献活動にも取り組んでいる。
- また、大阪支社全事業所において、従来より毎朝ラジオ体操を実施してきたが、更にラジオ体操指導員に指導いただき、「本気のラジオ体操」として、従業員の健康保持・増進を図っている。
- 今年度の健康保持・増進の取組みは、コロナ感染症拡大の影響から在宅勤務等が増加したため、リモート実施や家族の参加も可能とする等の工夫を講じている。

特別賞 オムロン京都太陽㈱

◇ 本社：京都市南区

◇ 事業内容：産業用ソケット・センサ等、電気機械器具の製造

【授賞理由】

- 1985年、オムロン㈱と(社福)太陽の家による共同出資会社として設立以来、「企業は社会の公器である」という企業理念のもと、障がい者の積極的・安定的な雇用を実現。工場では従業員自らが個々の能力や適性に合わせた治具・補助具・半自動機などを設計・製作し、作業範囲の拡大・生産性の向上を図っている。
- 自社内での障がい者雇用にとどまらず、工場見学の受け入れ、講演を通じて障がい者雇用ノウハウを広く社会に提供している。
- 京都車いすマラソンや京都で開催される全国車いす駅伝競走大会など地元の大会への参画を通じて、パラスポーツ全体の発展や地域の活性化に貢献している。

【参考1：各賞の評価の視点】

スポーツ振興賞	スポーツ振興への取り組みを評価。特に継続性や独自性、参加者数を優位に評価する。
地域振興賞	スポーツを通じた地域貢献への取り組みを評価。特に取り組みの継続性や独自性を優位に評価する。
健康経営賞	自社社員の健康増進のためにスポーツの実施促進への取り組みを評価。特に取り組みの継続性や独自性、参加者数または社内への浸透度合いを優位に評価する。
特別賞	大賞と上記3賞以外の企業から、「特徴のある取り組み」を評価。特に企業規模が小さい企業を優位に評価する。

【参考2：選考委員】委員は氏名五十音順

- 委員長 山口 泰雄 (流通科学大学特任教授、神戸大学名誉教授)
- 委員 伊坂 忠夫 (大学スポーツコンソーシアム KANSAI 会長、立命館大学副学長・スポーツ健康科学部教授)
- 委員 和泉 秀樹 (関西広域連合スポーツ部長)
- 委員 奥野 史子 (アスリートネットワーク副理事長、パルセロナオリンピック アーティスティック スイミング ソロ・デュエット銅メダリスト)
- 委員 佐藤 廣士 (関西経済連合会スポーツ振興委員長)
- 委員 中塚 則男 (ワールドマスターズゲームズ 2021 関西組織委員会事務局長)
- 委員 柳本 晶一 (アスリートネットワーク理事長、アテネ・北京オリンピック全日本女子バレーボールチーム監督)